

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Musicco step		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日	～	R8年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R8年 1月 19日	～	R8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの人数に対して職員を手厚く配置できている。	・正規職員が増えたので、手厚く配置できるようになった。	・今後さらに充実するよう、採用活動も行っている。
2	・記録の作成中に意見交換を行いながら、保護者により伝わりやすい記録を提供できている。	・気づいたことや気になったことを、なるべく職員がたくさんいる場面で共有できるようにしている。(その場で聞けていない人がいれば後で個別で伝えるようにしている。) ・日頃から、相手の質問に対して手を止めて受け答えしようとする姿勢を誰もがもっていると思う。 ・それぞれの意識が常に高く、意図や思いをもって子どもに関わろうとしている。 ・主担当に任せすぎない、補助の担当だとしても一緒に療育を行っているという心持ち。 ・そういうことの積みかさねで、分からなかったことや困ったことを気兼ねなく聞ける職場の雰囲気ができている。	・その場にいる職員や会えた職員にはその都度伝えられているが、その場にはいない職員には伝わりにくいこともあるので、日報やケア記録をさらに活用していきたい。
3	・活動プログラムの内容が多岐に渡っていて、楽しみながら様々な経験ができる。(季節ごとの行事、工作で使う道具の変化、土曜日の特別プログラムなど)	・活動に使う道具が一辺倒にならないように意識している。 ・毎月の製作物の記録(写真)を残しており、直近の作品や1年前の作品をさかのぼって計画している。 ・SNSなどを日頃からチェックし、療育に取り入れられそうな新しい情報を収集するようにしている。 ・個人に頼らず職員全体で相談しながら計画している。	・親子やきょうだいで参加できるような、さらに新しいプログラムが企画出来たら良いと思う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ハード面で、危険な箇所や療育に影響を及ぼす箇所がある。建物の構造上変えられないこともあるが、改善できる箇所もあると思う。(棚が倒れそう、療育中に物音が響きやすい、冬は暖まりにくい等)	・ヒヤリハットはその都度記録を書くようにしているが、ハザードマップに関しては見直す機会がなかなか持たず、考える機会が少なかった。 ・物の配置換えや細かい所の掃除などをした気持ちがあるが、今は日々の業務で手一杯。療育にかかる業務に人員が取られてしまっている。	・補助の暖房器具を導入し、少しでも温かく過ごせるように改善した。トイレや手洗い場はまだ過ごしにくいので、今後検討したい。 ・ハザードマップは、新しい書式でより職員の目につきやすい方法で掲示する。その都度追加変更をしたり、年度に1回は見直しを行うようにしたい。 ・採用活動を継続し、人員確保を行う。求人サイトへの掲載に限らず知人からの紹介や学生サポーターの受け入れなど、広く目を向けて採用活動に取り組んでいる。
2	・父母やきょうだいが参加できる機会がもてなかった。	・子どもがいつも通りの環境で安心して過ごせる、ということに重きをおくことで、イレギュラーな事(父母やきょうだいの参加)になかなか踏み込めなかった。 ・一部の保護者の負担を考え、父母の会の設置できていないのが現状	・保護者からの要望を受けて、療育参観の機会は設けることができた。前述のとおり、子どもがいつも通り過ごせる、ということを優先して保護者には十分な環境が用意できなかったが、参観された保護者様からは好評をいただいている。来年度も実施したいと思う。 ・療育に、保護者やきょうだい児も参加できるイベントを企画したい。
3	・地域に開かれた行事などが開催できていない。	・上記と同様、子どもがいつも通りの環境で安心して過ごせる、ということに重きをおくことで、イレギュラーな事(慣れない地域の人と関わる機会)になかなか踏み込めなかった。	・地域の子どものとの関わりに繋がるよう、地域の園の園庭開放に参加する機会ももてた。今後も定期的に継続したい。 ・地域に開かれたお祭りなど、行事として企画してみたい。